

なんだ・かんだ

◆「欲求がない男は、一流になれない」◆

井上裕之著 フォレスト出版

先日読んだ本ですが、男女雇用均等が唱えられている今、一部の女性から非難を浴びそうなタイトルですが、本の中身は、男女問わず当てはまる内容です。以下、「一流になる」為の極意を要約でご紹介致します。

先ずは、高い理想を持つと言う事。高い理想を持てば、大きく高いエネルギーが生まれる。お金も、仕事も、人も、理想を高く行動し情熱のある人の所に全て飲み込まれていく。反面、低い理想しか持てない人には、それなりの小さなエネルギーしか生まれない。理想が低くて、行動がない人のところには結果は生まれてこない。

高い理想というのは何かというと、それは自分が生きていく意義、つまり「ミッション」である。「ミッション」は、自分が生きるべき方向性を示してくれるものであり、これがあるから「なりたい自分」の姿を思い描くことができるし、具体的な目標を定めることができる。「自分は何のために生きているのか」、常にミッションを自分に問うことが、「成長」につながる。人生は成功ばかりではなく、試行錯誤の繰り返しだが、同じ試行錯誤でも、自分の中に「ミッション」という方向性を持っていけば「自分軸」がぶれることなく成長していける。

「ミッション」を達成する為には、「努力」と「言葉」と「潜在意識」の重要性について意識しなければならない。

真剣に学び「努力」して得たものを行動に移せばそれは価値に変わり「成長」につながる。大きな努力には、多くの結果がもたらされる。結果はいつか必ず帰ってくるとわかっているのだから、それを信じていけばいい。自分への投資にリスクはない。

人間が「言葉」にした事は一つ一つエネルギーを持ち、善悪を問わずすべて形となって現れる。過去の自分の考えが「原因」となって、今の環境と言う「結果」を生み出している。言葉が持つエネルギーの影響力は思っているよりもずっと大きく、更に人から言われる言葉より、自分が口にしたり、心の中で思う言葉の方が影響力は増大する。

また、自己の「潜在意識」において「いいことを思えば、いいことが起き、悪いことを思えば、悪いことが起きる。」つまり、後ろ向きの思考や発言が潜在意識にたくさん入っていると、ミッションの到達性が悪くなる。「潜在意識」を意識し始めると、悪い言葉やマイナス思考に敏感になっていく。悪い言葉、悪い環境、悪い人、悪いものに触れなくなり、「よりよく」を求めるので、理想の自分に成長できるチャンスを引き寄せる。「できると思えばできる」のメカニズムが形成されていく。

そして、言葉や思考だけではなく、付き合う人間についても「良い」人と付き合った方がよい。大勢のどうでも良い人と交流を持つよりも、自分に新たな刺激を与えてくれる人や尊敬できる人を選んで会った方が、たとえ人数は少なくても質の高いエネルギーの交換になる。

日頃欲求が薄く、物事に余り執着しない、別名「ジャマイカ人」(じゃー、まー、いーか) 妥協の権化の私には、昔から、努力しても会得できない難しい部分ですが、一流になる為に、これからは、自分の人生の意義を追求し、もう少しこだわりを持って生きていこうと思った次第です。



■ 年末年始の休暇 ■

本年は明日12月27日(土)まで営業致します。
年末年始休暇: 12月28日(日)から1月4日(日)までの8日間とさせていただきます。新年は1月5日(月)より営業致します。又、1月の第2土曜日ですが、昨年は営業致しましたが、今年はお休みさせていただきます。

メーカーによって、年末年始の受注及び製品出荷可能日が異なりますので、お得意様におかれましては、当社営業と年末年始の注文についてお打ち合わせいただき、生産や業務に支障の無いようお願い致します。ご迷惑をお掛け致しますが、宜しくお願い申し上げます。

1年を振り返って

先週は、爆弾低気圧の影響で北日本を中心に大荒れの天気でした。私の住む静岡県東部でも、かなり強い風が吹いて、外壁塗装中の現場が気にし何回となく足を運びました。また、この低気圧が過ぎた翌朝は、天気が良く晴れ渡ったのですが、放射冷却で大変冷え込みました。私の出社時点で、車に付いた外気温を計る温度計は、「マイナス3.0℃」この数年で最も寒い朝でした。この寒さは、瘦身の私の身には「たえませず」さて、今年一年を振り返って皆さんいかがでしたでしょうか。私は、仕事の上では、昨年よりも今年の方が、少し良いようです。しかし、個人的には、いっばいあるウィッシュリスト(カテゴリ分類毎の願望リスト)の項目で達成できたモノは数えるほどしかありませんでした。特に、「健康大格」「学習」面での目標については、「ほとんど達成できていません」。例えば、「脳トク」を受ける「常に「ありがとう」と言えるようになる」1冊の読書」等々、来年こそは、達成できるように頑張ります。今年1年、契通信にお付き合い頂きありがとうございました。来年は、発行10年目に入ります。引き続きお付き合いの程お願い申し上げます。皆様も、良い歳をお迎え下さい。

代表取締役 服部 敬 郎

社員ブログ

● ヒートショックにご用心 ● 建設部 森 直子

先日介護保険を利用して、手摺の取付や段差を解消する住宅改修工事を行いました。

浴室の床も平らに仕上げ、そこにはサーモタイル(商品名。他にも違う名前と同じ効果のあるモノがあります)という足が触れたときにヒヤッとしないタイルを貼りました。これは、電気などのエネルギーを使うことなく、タイル自体が中空バルーンを含んだ独自の断熱層を持ち、浴室の不快感な冷たさを解消してくれると言うモノです

冬場、室内の温度変化によって血圧が急に上昇したり下降したり、脈拍が速くなったりする状態のことを『ヒートショック』といいます。1年間にヒートショックが原因でなくなる方は推定1万4000人以上とされています。そのうち約1万1000人が65歳以上の高齢者で、交通事故による死亡者の約2.4倍だそうです。

ヒートショックの原因は急激な温度差です。浴室や脱衣所に暖房をつけたり、材質を変えたりと、暮らしの工夫で温度差をできるだけなくし、ヒートショックを予防しましょう。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方につきましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/